

京都大学医学部附属病院 薬剤部

がん治療に関わる保険薬局薬剤師研修 2019年度第2期研修生募集要項

1. 研修の目的

本研修は、がん薬物療法に必要な高度な知識、技能、臨床経験を修得し、京都大学医学部附属病院と円滑に連携し、がん治療期間を通して継続的な薬学的管理と患者支援を実践する能力を有する保険薬局薬剤師を養成することを目的としています。

2. 募集人員 若干名

3. 応募条件

本研修は、下記の応募要件の全てに該当する保険薬局薬剤師を対象とします。

- (1) 薬剤師として実務経験を3年以上有する者
- (2) がん薬物療法に従事している者
- (3) 京都大学医学部附属病院からの処方せんを応需する保険薬局に勤務している者

4. 研修期間・研修内容

研修期間は、2020年2月26日(水)から3月25日(水)の20日間です。

研修内容の詳細は、別添資料(研修内容、研修スケジュール例)を参照ください。

5. 研修費用 研修に要する研修生の費用負担は107,800円(98,000円+税)です。

6. 応募申請方法

下記の書類を2020年1月29日(水)までに、京都大学医学部附属病院 薬剤部薬務室宛に郵送してください。

- (1) 申請書(①団体申請用、要公印 又は ②個人申請用)
※勤務先からの申込み、又は請求書(研修委託費)の宛先が団体の場合は①を選択ください
- (2) 誓約書
- (3) 所属部門長からの推薦書 ※本院書式でなくても構わない
- (4) 履歴書 ※本院書式でなくても構わない
- (5) 調査票
- (6) 薬剤師免許証の写し(A4サイズに縮小したもの)

7. 選考

京都大学医学部附属病院薬剤部において書類選考し、決定します。

選考結果は2月上旬に、申請者に文書で通知する予定です。

8. 応募申請書の送付先

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部附属病院 薬剤部薬務室 宛

※封筒の表書きに「保険薬局薬剤師研修応募申請書在中」と朱書きのこと。

郵送された応募書類は、本選考のための目的以外には使用しません。

なお、郵送された応募書類の返却は致しかねますので、予めご了承下さい。

【問い合わせ先】 薬剤部 薬務室 (TEL 075-751-3581)

研修内容

研修期間 1ヶ月間(28日間)	研修内容
1.講義研修 2.実務実習	<p>がん医療における薬剤師が果たすべき役割について概説するとともに、実務実習の導入講義を行う。</p> <p>消化器がん・乳がん・肺がんの薬学的管理： ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案、地域連携 ・がんに伴う症状への対応(疼痛管理 等) ・各がん種の標準的治療とレジメン管理、処方監査</p> <p>薬剤師外来における薬学的管理： ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案、地域連携 ・がんに伴う症状への対応(疼痛管理 等)</p> <p>抗がん薬曝露対策と無菌調製： ・抗がん薬調製のための基本的知識、調製手技 ・抗がん薬曝露対策のための基本的知識 ・抗がん薬曝露対策のための患者教育</p> <p>がん看護・ケア： ・アドバンスド・ケア・プランニング ・抗がん薬治療に関連する副作用症状の把握とケア</p> <p>患者相談： ・がん患者からの相談事例について把握する</p>

がん治療に関わる保険薬局薬剤師研修 スケジュール (案)

		8:30	12:00	13:00	17:15	
1 週目	月	オリエンテーション	がん薬物治療総論		消化器がんの治療とレジメン管理・処方監査	
	火	消化器がんの薬学的管理 (放射線治療含む) ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携		昼休み	消化器がんの薬学的管理 (放射線治療含む) ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携	
	水					
	木					
	金					
2 週目	月	抗がん薬曝露対策と無菌調製の実践			乳がんの治療とレジメン管理・処方監査	
	火	乳がんの薬学的管理 (ホルモン治療含む) ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携		昼休み	乳がんの薬学的管理 (ホルモン治療含む) ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携	
	水					
	木					
	金					
3 週目	月	薬剤師外来における薬学的管理 ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携		昼休み	血液がんの治療とレジメン管理・処方監査	
	火				薬剤師外来における薬学的管理 ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携	
	水					
	木					
	金					
4 週目	月	がん相談支援センター (※要協力依頼)			肺がんの治療とレジメン管理・処方監査	
	火	肺がんの薬学的管理 (がん免疫療法含む) ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携		昼休み	肺がんの薬学的管理 (がん免疫療法含む) ・服薬指導、副作用モニタリング、処方提案 ・地域連携	
	水					
	木					
	金					